

小中一貫教育推進協議会 プロジェクト会議

まとめ

第1回プロジェクト会議

8月29日（金）with ラーニングコーディネーター
テーマ：「学力向上」「生徒指導」

第2回プロジェクト会議

10月7日（火）with CSコーディネーター
テーマ：「地域・学校・家庭連携」

① 校内

指導員 担任したい人へ
を相談して333は7月教育

① 小学校低学年の
体制を手厚くする
(基礎学力を定着させる)

① 下交と上
自覚と自覚 自覚と自覚
互いの自覚と自覚を
学ぶこと

① 授業改善の
方向性を共有
(研究主題・明確化)

① 授業改善
校内研究授業・重要なのは
授業

校内組織の見直し
① 学力充実に関係する
部を明確に設定

① 研究授業の
機会均等化
同じ者にばらばらでいい

ICT教育の境界
マンパワーの充実

学校間を
行き来できる
人材

② 学校間連携

② 協賛の力
小学校・中学校・高校
(連携)

学年毎
(9年)

② 小中連携
人事交流・
研修

働き方改革と
(楽をすることの
分別)

分散中学(進学)の解消

小中一貫教育

相互理解

合同研 研究テーマに
属する学力を高めるため

小学校への授業参観 (ヒール風に) → 中学校の
授業改善

部活動体験 合唱コン

学校 学力分析
→ 共通のデザイン
→ 中学校に取っての読み合わせ

家庭

授業改善

OICT ⇒ ミニ研修
活用事例

無回答 記述由題
読書 ⇒ 朝読書(め)

③ なぜ大事?

・ 読書時間(10分)
・ ビブリオバトル
・ 本のプレゼン
→ (位)体購人
・ すきもの時間(10分)
・ 読書時間(10分)
・ ポップカード
・ 本を読むきっかけ

読書力 = 書く力
振返りを書く ④ 中国単元と
⑤ 時間と

保護者に学校に
意識を向けてもら

学年より
(宿題・音読)

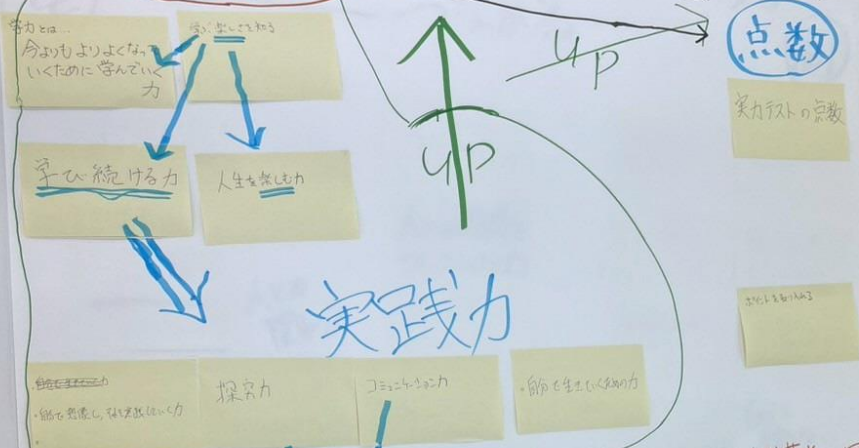
懇談会
共通理解 対話
(保・地・学)
読書大事 → 読書が
iPad持ち帰り
ドリルアプリ → 保
マン

家庭学習の引き

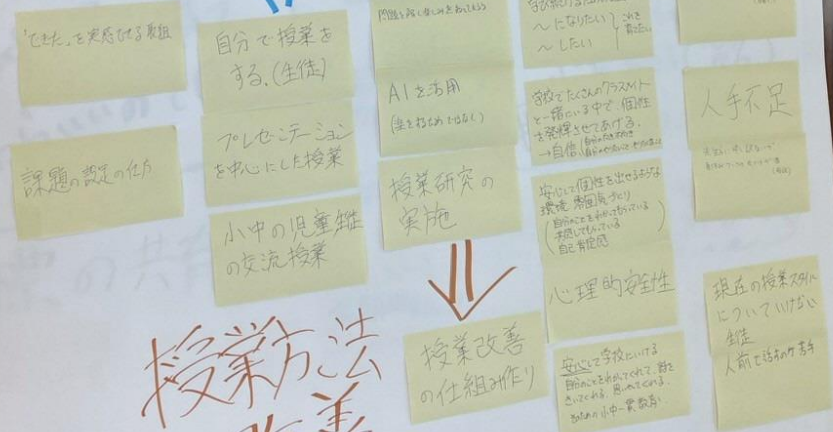
学校Bこと
△ 活用課題・周知
△ 時間(時間ごと)
△ 内容は発達段階

知的な好奇心を高める

小中一貫教育でめざす「学力」とは？

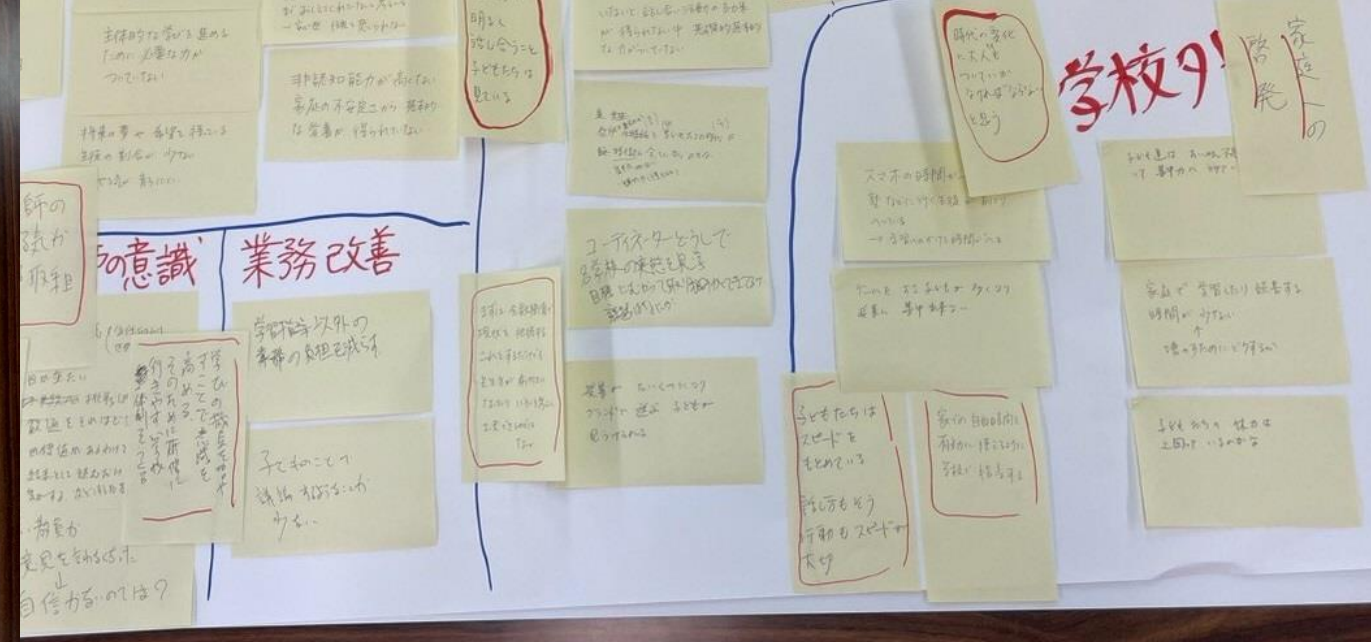
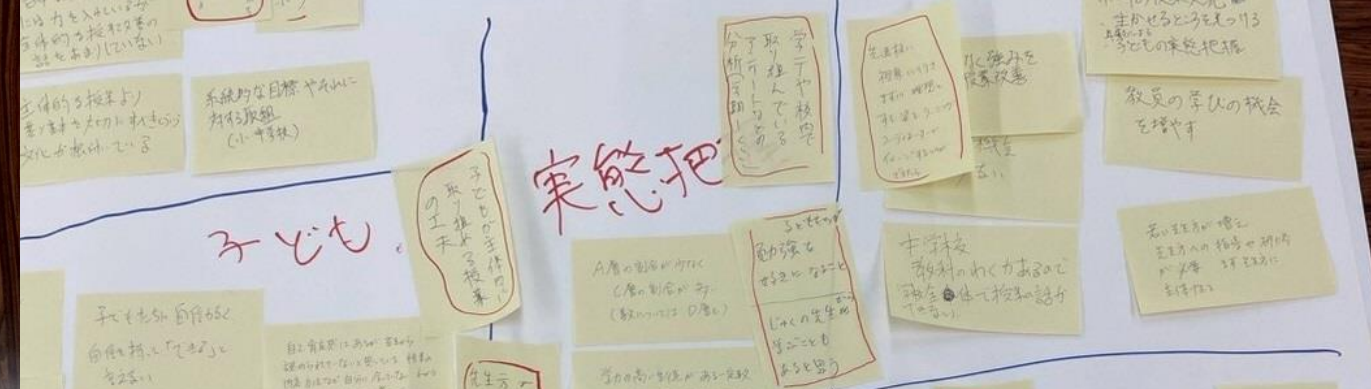


この「学力」をUPするためには？



心理的安全性

教員の学び



学力向上対策

【主体性・課題解決型の学習】

- ・基礎基本の積み上げの上に、子どもが主体的に取り組める授業改善
- ・「できた」を実感できる、知的好奇心を高める授業や取組づくり
- ・探究心・学び続ける力・自分を理解する力・自分を表現する力の育成
- ・課題設定の仕方の工夫
- ・問題を解く楽しみを知る学習機会の設定

【実態把握・ビジョンの共有】

- ・小中共通の課題分析、各種テストやアンケートをもとにした学力分析
- ・学びの連続性を中学校ブロックで共有

学力向上対策

【実践事例の交流・ラーニングCoの活用】

- ・校内及び中学校ブロックでの授業研究の実施、研究主題の明確化
- ・ラーニングコーディネーターの学びの機会の拡充（視察・研修等）

【保幼小連携】

- ・幼少期の育ちを小中学校の学びに繋げる視点の共有

高

中

小

第1期

第2期

第3期

第4期

第5期

後期

中期

前期

就学前

大人の姿見

敬語と伊う

安全

子ども主体

親の課題

家族の連携

親の心を育てる

それそれのステージ

最高学年から
低学年へ

課後

なだらかな接続

phi-jump

下臉校

進学への不安
学習への不安
なすかし...

- ・持ちもの(中印で)
- ・体験学
- ・部活体験

合唱コンクール
・人肉肉ぼうくり
のクラス数
(1年間のサイクル)
9成長をうながす

啼泣

服用 服はけ
な
金鉢
 回数 ケス

吟当
一叩八給

成果

古題錄

言葉かす 6年(通)
「高学」として、
(高学) 遊び、
。f-er) みるじ 体術

敬語
→ 部活 (先輩 後輩)
また、関係

↓
個の問題

〇互いの欠点を補う
 (専ら) 教科担当の
 一 (音理外)
 教科担当制
 〇特に意識せずとも
 ギャップ (段差) は自然と
 感じられる

SNS

7. 散兵前は
中學校の肉の味

生徒指導面でつなぐべき力

① 集 ② 個

新しい環境に適応する力

新しい環境への適応力

ソーシャルスキル

集団の中で生きていく力

つながる力

人との関係をつなぐ力

空気と読める力

コミュニケーション力

人の感情を理解する力

問題（いじめ）の解決力

自分を理解する力

自分で考える力
自分で判断する力

自己表現力

自分を表す力

自己肯定感の向上

自分を肯定する力

人との関係力

道徳

自己肯定感

高校進学後おこなわれる
社会に出るために
力を育む（学力）
力を育む（学力）

ギャップ

その力

課題

こんな取り組みを
小中一貫教育で
したいのでは？

目標の共有

スティーゴの目標の共有

9年間の連続性のある出前授業の実施

SST

新入生入学入学

中学生から小学生への体験談

体験入学定期的に!!

体験入学の意義

大人は信頼できる頼れるという感覚を

小中一貫教育の意義

中学校間の交流

高学年による交流会

中高連携

生徒指導の研修を小中で実施

子どもの距離感

ギャップからジャンプへ

伝え方が異なる

小・中の「違い」をしっかりと理解する

地域行事への参加と理解

小・中・高で学ぶ内容の連続性

小中の学びの連続性を重視する

中学校の先生から小学校へ教員に

中学校体験入学（体験）
中学校の先生から小学校へ教員に

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

意味は「小・中の違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

「小」の経験の積み重ね

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

小・中の「違い」をしっかりと理解する

今後の取り組み
小中の違いをしっかりと理解する

生徒指導

【児童生徒の実態把握】

- 成長を促す言葉かけの重要性
- 子どもを認めて褒めることや、個性を発揮する場面を設定するなど自己肯定感を高める支援
- 子どもがどんな状態にあるかを繊細に感じとれる教員の感性

生徒指導

【節目として位置づけられる取組】

- 環境が変化することへの肯定的な意味づけ
- 節目の重要性を意識した取組
- 不安をチャンスと捉え、前向きに捉えられる力
- 小学生が中学生に「憧れを持つ」取組づくり
- 進学への不安を解消する取組づくり（心理的安全性）

生徒指導

【節目として位置づけられる取組】

- 中1、高1ギャップを乗り越えるための仲間づくり
- 高学年としての意識づくり（縦割り遊び・掃除・運動会）
- 部活動における先輩・後輩の関係性の意義（あいさつ・敬語）
- 制服着用等による意識の変化の意義
- それぞれのステージで社会性を培う取組づくり（ソーシャルスキル）

生徒指導

【保幼小連携】

- ・ 幼児期からの遊びを通した人間形成の重視
- ・ 就学前の周囲からの愛情・見守りにより培われた基礎に基づく、基本的な学習規律の形成

1. 学校の安全安心・教育課程が
最優先!

2. 各分野・団体における持続可能な
取り組みが重要 (PTA, CS, etc.)
"楽しい・役に立つ・やりがい" 1. に合わせた活動...

3. 情報発信の工夫. 編集
、閲覧板. SNS...

4. 学校内に地域が使える集える
場所(部屋)があると良い。
(管理上の課題……)

地域連携の入り口
地区公民館、子育て支援
PTA、地域人材の活用
PTA、地域人材の活用

身も心も、共に育つ
この理念、実現を
積極的に発信

地域連携の
難しい
CS通信の計画
国際版 SNS
作成

今この地域に何があるのか
→ 教員、校長は何を求めているのか
→ 地域に何があるのか

取り組む組織の
役割の整理
が必要

小学校（校区）
この組織（見直し）

地域連携の入り口
地区公民館、子育て支援
PTA、地域人材の活用
PTA、地域人材の活用

5
4

3. シンボル、スローガン
活動の理念
授業補助（図書）

参加型・対話型
学習・思考
指導のあり方

5
地区公民館
各団体・個人との関係性
図解・フローチャート
作成（必要）

参加型・対話型
学習・思考
指導のあり方

4
小学校・OSへの対応
指導のあり方
図解・フローチャート
作成（必要）

参加型・対話型
学習・思考
指導のあり方

小学校・OSへの対応
指導のあり方
図解・フローチャート
作成（必要）

参加型・対話型
学習・思考
指導のあり方

小学校・OSへの対応
指導のあり方
図解・フローチャート
作成（必要）

参加型・対話型
学習・思考
指導のあり方

中学校・高校
この地域と連携
の役割は大きい

教職員への
3. シンボル、スローガンの理解

地域連携の
「地域連携の学校」
地域連携の学校

あじつ運動
イベント
祭り、お祭り

学びの連続性が
求められるのか？
地域連携

子どもたちの学び
1 → 7 5 → 7
2 → 8 6 → 8
施設・人型
組織は必要

児童・生徒と直接関わる
教員、小・中・高の連携
指導、指導
児童会、生徒会、運動会
→ 地域、関係者参加

地域・人型
「地域連携の学校」
地域連携の学校

地域の人と一緒の
イベント開催
（必要あり）

持続可能
地域の復活（運動会）
児童・生徒の参加
学校の活性化

中学校ブロック
の考え方を
共有

仕組み、組織
従来のものと
地域連携

時間が足りない
地域・人型にも限界
地域・人型にも限界

情報発信
初期よりわかりやすく
なす。理解の目的
を明確にする

小・中
放課後時間
（地域と）共有

学校の取り組みを
SNS、放送
（地域連携の学校）
地域連携の学校
PTCの活用

情報発信
スマホの活用

サービス

学校の負担にならない
地域行事の実施

地域の小中学生が
自分たちの地域を
好きになれるか。

子どもフェスティバルやクリーン運動
では児童生徒の交流はもとより
地域から参加も多く見られる

提案
在籍の児童生徒の祖父母に対するアプローチを強化した
ように、学業に対するだけでなく、生活面でも

黃檗學園

育友会(PTA)がひとつの組織に統合されている。小学校と中学校の保護者の情報共有がなされている。

学校発行の×ルマが
登録者を募集

次の世代に
つなげる

感動

ナシモ中心
↑
アタ

き、かけうり

隣接地域との交流
○X 区民運動会
○X 区民運動会

持続可能な取組のために
CSコーディネーター
ラーニングコーディネーターを
養成するという視点は
予算的・人事的な措置

持続可能な
PTA活動
の為に組織作り

「働き方改革」を
誇張しすぎて速にはか
らなる

家庭・学校・地域連携

【CSコーディネーター】

- ・小中CSコーディネーターの連携強化・交流機会の拡充
- ・小中CSコーディネーターの一本化

【保護者や地域の主体的な参画】

- ・気軽な参観や行事参加からの取組づくり（祖父母・卒業生）
- ・今ある行事の精選と持続可能で気軽にできる取組の企画
- ・強制されない、自ら参加できる取組の企画

家庭・学校・地域連携

【Win-Win】

- ・学校内に地域が使える、集える場所の設定
- ・地域の方（人生の先輩）から多様なことを学ぶ機会の設定
- ・児童生徒が気軽に参加できる地域イベントの充実

【情報発信ツール】

- ・地域・家庭への情報発信や啓発の取組（SNS・回覧板・HP・メルマガ・アプリ活用）
- ・施設分離型でも小中一貫教育の取組が推進されていることがわかるような情報発信

家庭・学校・地域連携

【一体的な教育環境】

- ・地域の方やPTA・構成団体等と連携した「あいさつ運動」「クリーン運動」「地域懇談会」等の活動づくり
- ・「中1ギャップ」の段差を乗り越える方法を、子ども・保護者・学校とともに考える機会の設定
- ・斬新なアイデアやクリエイティブな発想を生かした宇治市への提言づくり